

昭和時代・戦前

大正15年(昭和元年)			昭和4年			昭和7年										昭和16年	昭和26年
1926	1927	1928	1929	1930	1931	1932	1933	1934	1935	1936	1937	1938	1939	1940	1941		1951
		1									1	1			1	1	1
		9									9	9			9	9	9
		2									3	3			4	4	5
		7									7	8			1	5	1
		(昭和2)									(昭和12)	(昭和13)			(昭和16)	(昭和20)	(昭和26)
② 行田窯	① 彩々亭		③ イサミ足袋工場	金融恐慌	⑥ 忠次郎蔵	⑦ 翠玉堂蔵				⑧ 小川源右衛門蔵		生産量全国の8割	足袋産業ピーク		⑪ 牧停舎	太平洋戦争	終戦



彩々亭

足袋屋から参議院議員まで登りつめた荒井八郎が昭和初期に建てた住宅兼事務所。当時は“足袋御殿”と呼ばれただけはあって贅をつくした建物です。

○「新井八郎商店」①昭和元年(1926)・7年・10年の住宅兼事務所



行田窯

②昭和初期(1926)の足袋蔵「荒井八郎商店」足袋原料の木造倉庫 [現 陶芸工房]



イサミ足袋工場

現存する行田最大級のノコギリ屋根の木造洋風工場で昭和初期の建設。昭和3年、住居地から完全に独立した大規模足袋工場のさきがけとなった。

③昭和初期、昭和13年足袋蔵(モルタル蔵)大規模足袋工場 [現:イサミコーポレーション(被服工場)]



小川源右衛門蔵

⑧昭和2年(1933)の石蔵「小川源右衛門商店」の商品倉庫 [現:カネマル酒店]



④昭和3年(1928)建設の足袋原料倉庫 現存する市内唯一の戦前の鉄骨コンクリート造の足袋蔵



○「小川忠次郎商店」大正9年開業 ⑥昭和4年(1929)の店蔵[国登録有形文化財] [現:そば打ち教室「忠次郎蔵」]



⑤昭和4年(1929)の足袋専用倉庫(土蔵)



○山田三之助の山田荒物店。⑦昭和4年(1929)の町屋[現:天然酵母パン屋]



⑨昭和9年の店舗。忍貯金銀行(小川建築)の建設。

ノギリ屋根工場と事務所兼住宅です。落ち着いた戦前の日本屋敷の佇まいを良く伝えております。現 藍染体験工房「NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク」。



○「足袋・被服商牧禎商店」昭和15年(1940)創業。⑪事務所兼倉庫と工場